

## ごあいさつ

私は、縁あってこの高岡で暮らし、パートで働きながら2人の子どもを育ててきました。これまで、親子リズムなどを通じ、子育て中のお母さんや働くたくさんの女性の切実な願い受けとめ、活動してきました。

水道料金引き下げや子ども医療費無料化拡大の署名運動を取り進む中で、市民の力で市を動かす事が出来ることを実感してきました。そして、市民の声を聞き、議会に届ける議員の力が欠かせないという事も痛感しました。

私は、女性がその力を発揮し子育てしやすい高岡市になるように、私にももっと何かできないかという思いを強め、市政への挑戦を決意しました。

今、消費税増税、TPP、医療・介護の負担増など、命と暮らしを脅かす政治の中、市民の暮らしを守る高岡市政の実現のために力を尽くしたいと思います。

## プロフィール

小学校では、習字が得意でした。中学・高校時代には新体操を6年間続けました。

勉強のなかで、歴史に興味をもち、社会への関心も高めていました。



大学入学後、歴史の真実を学ぶ中で、憲法9条や平和、基地問題などに触れ、社会の根本問題を真面目に追求する日本共産党に出会う。

新日本婦人の会高岡支部の事務局長として、子どもの医療費無料化や、水道料金引き下げの署名運動など、運動の中心で活動してきました。



- 1962年(昭37)福野町生まれ  
井波高校、橘女子大学(現京都橘大学)卒
- 福野町農協、生協COOPとやま勤務後、  
現在、日本共産党高岡市委員会女性部長
- 新日本婦人の会高岡支部前事務局長
- 家族 漆器加飾業の夫、  
長男の3人暮らし
- 趣味 ウォーキング、茶道、美術鑑賞
- 自宅 中川本町11-13 県営住宅2-204  
携帯 080-6355-8380



acchan1962@gmail.com

高岡民報

2013年9月号外  
高岡市内免2-7-13 電話 0766-23-3281  
日本共産党高岡市委員会の活動を紹介します。



# 高瀬 あつこ

中川本町在住 党高岡市委員会 女性部長

高瀬あつこ

検索

日本共産党

# いのちとくらしを守る高岡市に

## 子どもの医療費無料化の拡大実現

2011年「子どもの医療費を無料に」の署名6千筆を市長へ提出。翌年10月より、小6までの医療費無料化が実現（入院は中3まで、通院は小6まで）。

高瀬さんは、新日本婦人の会高岡支部事務局長として、この取り組みの先頭にたって奮闘しました。

## JR線の枕木出火や水害対策で 国土交通省へ申し入れ

北陸線の遮断機トラブルや城端線・氷見線のレール枕木や枯れ草が燃える事件があいつだJR。昨年夏の集中豪雨による被害が相次いだことから対策と支援を国土交通省に要請。国交省は、「高岡市の水害対策を支援する」意向が示されました。

## 県下でも高い高岡市の 水道料金の引き下げへ行動

「水道料金の引き下げを求める会」の会長として4千5百名余の署名（05年9月）を集め県・市に対して繰り返し要望。その後、2回にわたって引き下げが実現しました。



市署  
へ要請  
届け



通六  
省月、  
要国  
請土  
交



## 高瀬あつこのお約束

- 通学路の危険箇所を改修・整備を
- 子ども医療費を通院も中学3年まで無料に
- 小・中学校の教室にクーラーを。
- 30人学級の実現を
- いじめ問題解決へ力を合わせます
- 国保税・介護保険料・保育料の軽減を
- 水害・雪害・地震対策の抜本的強化を
- 夜道に街路灯増設、安全な街を
- 住宅リフォームへの助成制度をつくり、仕事と雇用を増やす
- 伝統産業支援、身近な公共工事を増やし中小企業を支援
- 消費税増税の中止。原発再稼働反対
- 高齢者見守り体制強化、買い物通院支援を

## 高瀬あつこさんに期待します

◆真面目でよく勉強し、納得したら揺るがない。粘り強く何事にも取り組む人です。

学生時代友人 中路初音

◆わき目もふらず仕事に集中する姿が印象的でした。何事にも「前向き」「おおらか」に向き合う人。

元職場の同僚

◆「原発ゼロをめざす高岡の会」で共に活動しています。今後の活躍に期待します。

弁護士 坂本義夫（清水町）

◆社会保障制度の後退の中、「くらしの守り手」として市民とともに頑張ってください。

中川本町 石川丈夫